



# 砺波総合病院から

病院のホームページもご覧ください。

市立砺波総合病院 ☎32-3320

## 緑内障について



眼科  
医師 阪口 仁一

緑内障は、厚生労働省の調査によると、我が国の失明原因の第1位を占めています。日本での大規模な住民検診（通称…多治見スタディ）として、岐阜県多治見市に在住する40歳以上の約4,000人に対して緑内障検診を行ったところ、受診者の5%で緑内障が見つかりました。緑内障は、加齢や近視などと関連するといわれており、高齢化社会や若者の近視化という世の中の動きにあわせて、今後さらに患者の数が増加していくと考えられます。

### ■緑内障の仕組み

緑内障は眼の神経が萎縮し、視野が欠けていく病気です。いくつかのタイプに分類されますが、大まかに分けて、急性に進行するものと、慢性に進行するものがあります。

1 急性のタイプでは、劇的で著しい眼圧上昇（急性緑内障発作）を起こすことがあります。急に片目がぼやけて見え、眼痛、頭痛、吐き気などの激しい自覚症状が出現

します。すぐに治療しないと、数日で失明してしまう危険性があります。

2 慢性のタイプでは、視野が「欠ける」というよりは「部分的にぼやける」ように感じられます。ゆっくり進行するため、かなり悪くなるまで発見されにくく、無治療ですこしている方がたくさんいらっしゃいます。

緑内障と聞くと「眼圧（眼の硬さ）」が高い病気という印象がありますが、多治見市での住民検診で緑内障が見つかった方のうち70%は、眼圧が正常範囲内の「正常眼圧緑内障」でした。緑内障の発症、進行には眼圧以外にもさまざまな要素（加齢、近視や遠視、人種、血圧、糖尿病の合併など）が影響すると報告されています。

### ■緑内障の診察と治療

現在の医学では、残念ながら、緑内障を治す（一度狭くなった視野を復活させる、眼の神経を再生させる）ことはできません。また、どんなにがんばって治療しても、進行を止められないケースもあります。しかし、適切な診断・治療を行えば、視野障害の発症を抑え、進行を緩やかにできる可能性が高まります。現在、唯一医学的根拠のある治療方法は、眼圧を下げることです。そのためにとても大切なのが、定期的な通院によってご自身の眼圧や視野の経過を知っていただくことです。

診察では、眼圧や視野の確認に加

え、眼底の写真を撮ったり、神経の厚みを測ったりする検査（眼底OCT）が行われます。

治療には①薬物療法②レーザー治療③手術があります。すべての緑内障に対して同じ治療効果があるのではなく、緑内障のタイプやそれぞれの患者に適した治療方針を決定することがとても重要です。

### ■当院の緑内障診療

当院では神経の厚みを測る「眼底OCT」のほかに、最近、最新式の「前眼部OCT」という器械を導入しました。これにより、急性の発作を起こしやすい眼かどうか、数秒で患者さんへの負担がほとんどなく検査できるようになりました。治療では、点眼に加えてレーザー治療や入院手術も行っています。重症の場合は大学病院の緑内障専門外来との密な連携により、一人でも多くの緑内障患者さんを守るべく、診療に取り組んでいます。



## 乳がんの治療やケアを知ろう

## がん相談支援センター 市民公開講座

日時 9月23日(日) 午後2時～3時30分  
場所 砺波市出町子供歌舞伎曳山会館 多目的ホール

講演内容 ・がん相談支援センターの役割と活動について  
～相談の実際やサロンの様子をご紹介～  
・もし、がんと云われたら？ ～がんと心について～  
・乳がんの基礎知識と最新の治療について

緩和ケア認定看護師 高島留美

臨床心理士 広田千織  
外科・乳腺センター医師 野崎善成



市立砺波総合病院  
がん相談支援センター  
シンボルマーク

問合せ がん相談支援センター ☎32-3320(代表)